

福徳岡ノ場の火山活動解説資料（平成 23 年 2 月）

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

海上保安庁海洋情報部、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁によるこれまでの観測によると、福徳岡ノ場付近の海面には長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されています。

今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では噴火に対する警戒が必要です。

平成 19 年 12 月 1 日に噴火警報（周辺海域警戒）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

8 日に海上保安庁が実施した上空からの観測によると、火山活動による複数の湧出点付近から濃乳白色、青色、青白色、緑色の変色水が幅約 50m、長さ約 1000m で北東方へ帯状に延びているのが確認されました。

福徳岡ノ場ではしばしば変色水や浮遊物が観測されており、2010 年 2 月 3 日には小規模な海底噴火が発生しています。

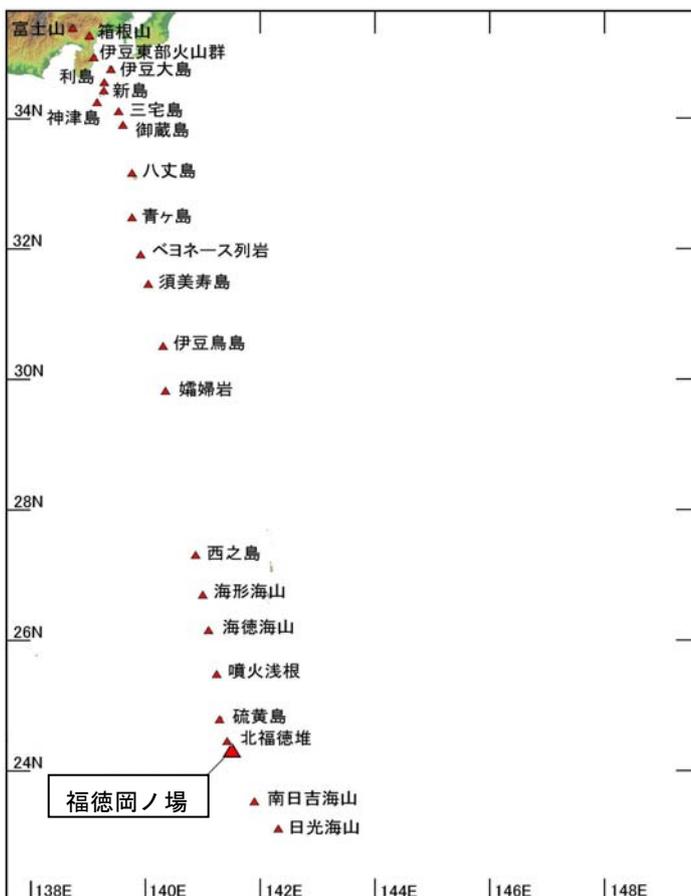


図 1 福徳岡ノ場 伊豆・小笠原諸島の活火山
分布と福徳岡ノ場

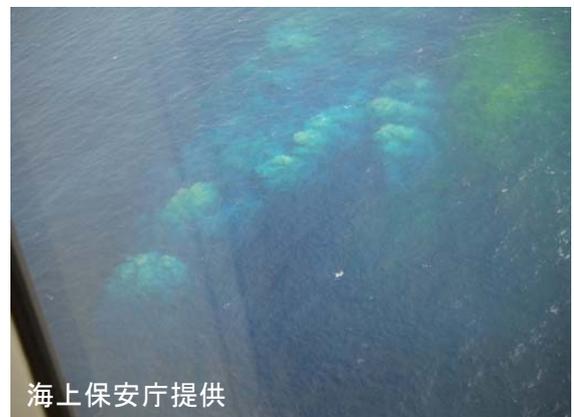


図 2※ 福徳岡ノ場
変色水の状況（2月8日撮影）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 23 年 3 月分）は平成 23 年 4 月 8 日に発表する予定です。

※この記号の資料は、海上保安庁、第三管区海上保安本部及び海上自衛隊のデータを利用して作成しています。